



高輪だより

平成29年3月号

港区立高輪幼稚園
園長 新山 裕之

＜気持ちのいい挨拶で始まる一日＞

以前から、子どもたちも一緒にあいさつ運動をしたいと思っていました。保護者の皆さんも全員に関わってもらうことができ、お陰様で今回の『アカデミーあいさつ運動』は、とてもいい雰囲気で開催できました。毎日通っていても、あまり顔を合わせる機会がない他の学年の親子との出会いもあったようです。大勢の顔が並んでいて、ちょっと照れくさかったかもしれませんが、互いに顔を見合わせて直接あいさつを交わすことで、人と人とのつながりが深まったと思います。ご協力ありがとうございました。

＜足元から健康を考える＞

今年度、足育の研究と実践を進めています。園だよりや講演会などで足や靴に関する情報を提供し、大人が正しい知識を身に付けることも研究の大きな柱の一つです。子どもたちは、裸足で牛乳パックぽっくりや一本下駄で遊ぶことでも足腰を鍛えてきました。しかし、足に合う靴を正しく履かなければ、足は元気でいられません。アンケート調査も進め、正しい靴の脱ぎ履きの指導方法の改善にも取り組んでいるところです。大人も含めて足や靴への関心を高めて、足元から健康になりましょう。

＜バトンをつないで、さらにすてきな幼稚園に！＞

一緒にリレーをしたり、探検隊に出掛けたり、弁当を食べたりと、学年の枠を越えた関わりが広がり、いろいろなバトンタッチが始まっています。年長児は、弟妹だけでなく「未来の子どもたち」のために修了記念の品を作り始めています。PTA総会も無事に終わり、大人も来年度への引き継ぎを順調に進めてもらっています。今年楽しい経験がたくさんできたのも大勢の皆さんのお陰です。一年間本当にありがとうございました。大人も子どもも、「心の根っこ」を大事にしなが、新しい発想や工夫を凝らして、さらにすてきな高輪幼稚園にしていきたいと思います。



リレー形式で全員が参加したあいさつ運動



誕生会の装飾を褒められ、大満足の4歳児



5歳児と3歳児のきょうだいで一緒にリレー



4、5歳児とで一緒に出掛けた高輪探検隊



今年も春の訪れを告げてくれた「ふきのとう」

・・・弥生（やよい）・・・

啓蟄（5日）…高輪ではどんな虫たちが目覚めるでしょうか…

春分（20日）…園庭の桜はいつ頃開花するでしょうか…

さくらんぼの部屋の南側のフェンス際に、今年もふきのとうが顔を出しています。高輪台小学校から移植したのも根付きました。ともだち池にはヒキガエルが姿を見せ始めています。桜もつぼみが目立ち始めています。自然の小さな変化に気付く感性は、子どもたちの小さな育ちを読み取る感性にもつながります。1年間、高輪の自然に関心をもち、季節の移ろいを感じることはできたでしょうか？

高輪の
二十四節気